

江東区議会公明党の実績を紹介します

これまでに皆様からいただいています区民相談、要望などのお声をもとに、江東区議会公明党は、さまざまな政策、支援策を実現してまいりました。

これからも、皆様からのお声を大切にし、政策の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。



実績

江東区議会公明党の実績より

実績 1

介護中マーク



解説 1

介護していて、外出先で妻が夫の男子トイレに入る場合とか、奥様を介護で女性の下着売り場にいるときなど、介護する方が周囲から誤解や懸念に思われぬように、「介護中」と書かれたカードケースをかけ、周りに気兼ねなく安心していただくものです。静岡県でスタートし、23区初で実施。このマークは全国共通です。2013年3月に議会提案。平成26年8月から配布を開始。問合せ先は高齢者支援課、配布場所は長寿サポートセンター等です。

実績 3

ヘルプカード



解説 3

一見、障がい者とはわからない方が必要な支援内容を記載し、災害や日常生活の中で困ったときに、周囲の障がいへの理解や支援を求めるものです。例えば、聴覚障害の方は外見では障がいがあることがわかりません。筆談で会話してくださいなど書いて知らせます。東京都がヘルプカード作成に助成を出すことを決めました。2012年6月に議会で発言し、2014年1月からヘルプカード発行事業が開始しました。配布場所は障害者支援課、保健所、保健相談所です。

実績 2

認知症の早期受診・早期治療パンフレット
(附録「私の思い出綴り」)

解説 2

ある高齢者の区民の方から、認知症にいつなるかわからないから、今のうちに遺言のようなものを書いておきたいと相談があり、エンディングノートのようなものをご自宅で書いていただきたいと議会で提案しました。認知症に対する心の安心にもつながるといことで有効です。思いを伝える薄手のノート、認知症対策にもつながると23区初で認知症高齢者支援事業の取り組みになるのではないかと議会で提案し実現したものです。2012年9月に議会提案。問合せ先は高齢者支援課です。



“やつぎ” のひとこと

覚えよう！ みんなで守る合言葉 “いかのおすし” いかない、のらない、おおごえをだす、すぐにげる、しらせる。地域のこどもを見守り、安全に過ごしましょう！